

全校体制で、主体的に学び続ける力を育てる家庭学習に!

どの児童生徒にも、主体的に学び続ける力を育てていくためには、全校体制で、また、中学校区で連携して継続的に指導することが効果的です。家庭学習の内容や量、宿題(課題)と自主的な学習のバランスを工夫し、段階的に、主体的に学び続ける力(こつこつ学ぶ力、授業と関連させながら工夫して学ぶ力、適切な内容を選び計画を立てて学ぶ力)を育てましょう。

家庭学習も「選択」と「集中」。次の視点を参考にして学校の取組を考えましょう!

全校体制での指導・支援を進めるための視点

効果的な指導・支援をするために

家庭学習の進め方を共有する

- 学校で、実態に応じた目標時間を設定する。
- 家庭学習の内容や、学年の発達段階に応じた宿題と自主的な学習のバランスを検討し、共通理解を図る。

復習や自主的な学習について、学校全体の取組としたことと、やり方を提示したことが意欲の向上につながりました。継続する手立てが今後の課題です。(小学校教諭)

教科間で連携する

- 教室に家庭学習連絡用の黒板を設置して、バランスのよい宿題(課題)になるようにする。
- ノートの使い方や宿題(課題)の提出方法等を統一し、取り組みやすくする。

家庭学習連絡板によって、生徒は一目で今日の課題を把握することができます。また、生徒にとって適切な量の課題をだすことができます。(中学校教諭)

習慣化を図るための手立てを共有する

- 学校で家庭学習のプランを立てる時間や家庭学習に取り組み始める時間を設定する。
- 計画表を活用して、計画を立てて進められるように支援する。(内容別選択肢、難易度別例示など)

2年前から終学活で今日の家庭学習の計画を立てる時間を設けています。学年で課題の内容を揃えたり、生徒会の活動と連携させたりすることで課題の提出率が上がりました。(中学校教諭)

家庭学習計画表

終学活でプランニング

よい取組を共有する

- 掲示スペースを設け、よい取組を全校、全職員で共有する。
- 家庭学習の進め方や時間の使い方などを、仲間や後輩に伝える場を設定する。

友達の勉強方法を参考にしている子もいます。よい取組を紹介したことが、児童の意欲の向上につながったようです。(小学校教諭)

家庭学習ノートの掲示

さらに指導・支援を継続するために

中学校区で連携する

- 家庭学習の進め方を共有する。
- 学び方、ノートの使い方など、情報を共有する。
- 中学校区で9年間、連続した取組を行う。(点検方法をそろえる、ノートをそろえるなど)

児童生徒が自学で何をすべきかが見えるための手立てをどう講じていくかを小中合同で考えました。9年間のつながりを意識して指導・支援していきたいです。(中学校教諭)

保護者と連携する

- 保護者会で家庭学習についてファシリテーションをし、学校と家庭の連携意識を高める。(学校でできること、家庭でできることを話し合う。)
- 家庭学習ノートや取組について学校・学年だよりで情報発信する。

保護者と家庭学習について話し合うことで課題を共有できました。今後、さらに多くの保護者を巻き込んでいきたいです。(中学校教諭)

まずは、児童生徒の実態やこれまでの取組を基に、学校として、何をそろえるのか、どのように取り組むのか検討するところから始めましょう。段階的に、継続的に、学ぶ力を育てることは、生涯にわたって学び続ける力を付けることにつながります。